

式 辞

地中で冬ごもりをしていた

虫たちが、地上に這い出してくると言われる二十四節気の一つ「啓蟄」も過ぎ、進路選択という試練を乗り越えてこられた皆さんの背中を、柔らかな春の風が、そつと後押ししているかのようです。新たな世界へと、今、正に歩み出していかれる卒業生34名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

本来なら、多数のご来賓と保護者、在校生が一堂に会し、盛大にお祝いしたいところで。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむなくPTA会長船谷淳吾様にのみ、ご臨席いただき、教職員と保護者の方の参加によって、福井市川西中学校 第七十回卒業証書授与式を挙行できますこと、学校を代表しまして心より感謝いたします。



きて、今ほど、卒業生一人一人に卒業証書をお渡ししました。皆さんが手にしたものは小学校6か年の上に中学校3か年、計9か年の、たゆまぬ努力の積み重ねによって義務教育が修了したという証です。

川西中学校での3年間の鍛錬、とりわけ最
高学年としてのこの1年間の取組、つまり、
コロナ禍にあつて、今までに経験したこと
のない厳しい環境下での皆さんの試行錯誤の繰
り返しは、実にたくましいものでした。修学
旅行中止、連合音楽会中止、夏季大会中止と
いう中にあつて、次々とアイデアを出し合
い、自分たちにできることを速やかに実行に
移しました。困難は決してマイナスばかりで
はなく、むしろ、自分自身を変化させ成長さ
せるチャンスであることを、身をもって学ん
だことでしょう。

「3年生を見習え。」これは約3か月間の
臨時休業を経ての入学式の式辞で述べた言葉
です。

皆さんの日々の取り組みは後輩たちの手本となり、川西中学校に新しい生活様式を定着させると共に、伝統も高めることになりました。「挨拶・清掃・授業・生徒会活動・部活動・ボランティアなど」。伝統とは、ただ単に眠っている施設・設備・文化財を指すのではなく、そこに生活する最高学年の懸命に生きる姿、そのものです。これこそが伝統です。「本当に良くやりました。」

また、中学校で身につけた力、つまり多少のことではぐらつかない強靱な足腰は、変化の激しい時代を生き抜くための確かな礎となります。無論、日々の勤勉な生活、地道な努力を支えてくださったのは、周りの人たち。今日の上き日に、今までなかなか言葉にすることのできなかつた「ありがとう。」という感謝の気持ちをも、仲間に、先生に、そして、何よりも一番身近な家族に、明確に伝えてください。

ここで、皆さんの門出にあたり、私から2つのことを確認したいと思います。

一つ目は「文武両道を目指せ。」ということ
です。学生の本分である「学業」と「部活動
や趣味・特技を伸ばす」ことに、青春の溢れ
んばかりのエネルギーを費やして欲しい。そ
して、自分の中に秘められた可能性を、さら
に広げることによって、人生100年時代
を、自分自身の確かな足取りで未来に向かっ
て一步一步、着実に歩んでいってください。

二つ目は「健康を大切にせよ。」というこ
とです。コロナ禍にあつて、皆さんは健康の
大切さについて考えさせられることが多かつ
たことと思います。健康とは、どのような条
件が必要なのでしょう。まず、体のコンデ
ーションが良好なこと。これは、誰もがすぐ
に思いつくでしょう。それから、心のコンデ
ーションが良好なこと。さらにもう一つ大切
な条件があります。世界全体で感染症の封じ
込めをリードするWHO世界保健機構による
「健康の条件」には、「社会への調和」が掲
げられています。つまり、自分が所属する
様々な「集団生活への調和」が必要なので

す。分かりやすく言えば、学習すべき時に怠けている人は健康ではない、とWHOは明言しています。部活動中に集中力に欠ける人は健康ではない、と明言しているのです。仲間と共に、楽しむときは存分に楽しみ、鍛錬すべき時には、とことん自分自身を鍛えてください。また、それを根底から支えるものは、言うまでもなく基本的な生活習慣。「早寝・早起き・朝ご飯」を今後も徹底してください。

最後になりますが、保護者の皆様、お子様のご卒業、おめでとうございます。この三年間、私たち教職員一同、力を合わせ、本校の教育目標の達成に向かってひたすら邁進してまいりました。よかれと思ったことは全てやり切ったつもりです。しかし、この1年は未曾有のコロナ禍にあって、至らぬ点多かったことと思います。この場を借りて、改めて保護者の皆様の、本当に温かいご理解とご支援に心から感謝を申し上げるとともに、引き

続き、川西中学校への熱い応援を、是非、お願いいたします。

さあ卒業生の皆さん、緑の丘の学び舎で共に励んだこと、赤き薨の学び舎で共に尽くしたことを確かな自信として、新たな世界に向かって、力強く羽ばたいてください。皆さんの前途に幸多かれと祈念し、式辞いたします。



令和三年三月十二日

福井市川西中学校長

齊藤浩之